

第81年度 新任職場委員研修会 ホテルマリナーズコート東京で2日間

第81年度新任職場委員研修会を12月16日、17日に海員福祉研修会館（ホテルマリナーズコート東京）にて開催した。職場委員とは企業に所属する組合員で、現職の地位のまま労働協約の履行を監視し、組合員の苦情処理にあたることを主な任務とする。本研修では「職場委員の役割について学び、職場委員同士の交流を行うこと」を目的としており、全国から11人の新任の職場委員が参集し、2日間の研修を経て職場委員としての任務と役割を理解した。

研修1日目は、午前10時の開会式から始まり、海員組合・総務部木村俊暁副部長による講義「職場委員とは」を行い、組合活動における職場委員の任務や権限、組合の機関会議やイベント等、必要な知識を学んだ。

午後からは外部講師による「ビジネス・コミュニケーション講座」を実施し、日常業務に役立つ意思疎通や情報伝達等に必要なテクニックについて実演を通して学んだ。続いての講義「近年の労働情勢および労働組合法」では、労働組合の存在意義や、労働三法（労働基準法・労働組合法・労働関係調整法）等の関係法令を分かりやすく解説し、職場委員としての必要な知識について理解を深めた。夕刻より外部講師による「アイスブレイク」を実施し、食事をしながらゲームを交えて歓談し、職場委員同士の交流をより一層深めた。

研修2日目は午前9時から、本組合法律顧問の田川俊一弁護士（事務所所属の黒田直行弁護士）による「労働債権・労使紛争等」の講義が行われ、労働組合の持つ権利と法律上の船員労働者の特殊性、本組合が行ってきた労使紛争等の事例をもとに、会社の不当労働行為や倒産時の対応について学んだ。続いての講義は、海員組合・総務部木内充総務局長付シニアアドバイザーによる「仕事をする上で大切なこと」で、仕事とは何か、仕事を通じてなにを実現するのか、より良い仕事をするために何が必要で、何を心がける必要があるかについて学んだ。

最後の講義「組合と語ろう」では、田中伸一組合長代行との意見交換が行われ、組合活動について理解を深めた。

研修の締めくくりとして修了式を執り行い、田中伸一組合長代行から修了証書の授与とともにあいさつがなされ、終了した。

「海員だより」